

## 第19回電子情報化委員会 議事録(案)

日時：2005年9月7日(火) 17:00-18:45

場所：JCI会議室

出席者：野口委員長、金久保、中村の各幹事、伊藤、甲斐、田所、田嶋の各委員  
(事務局)戸口、鳥居南

### 資料

19-0：電子情報化委員会(第19回)議事次第

19-1：第18回電子情報化委員会 議事録(案)

19-2：電子情報化委員会名簿

19-3-1：メールニュース関係

19-3-2：メールニュース 2005年9月号

19-3-3：9月号会告

19-4-1：研究委員会ホームページ準備状況について

19-4-2：JCI研究委員会HP 更新作業マニュアル(案)

19-5：電子情報化委員会HP

19-6：「コンクリート工学年次論文集」Vol.28 原稿募集

19-7：JCIの活動の電子情報化

### 議事

#### 1. 第18回議事録(案)の確認

第18回議事録(案)が確認された。また、前回議事に関連し、以下の議論があった。

- ・野口委員長から、議事録に記載された作業項目は随時タスクリストにのせ、作業が円滑に進むようにするのがよいとの意見が出され、対応することとした。
- ・JCI年次論文の検索については、ホームページで、筑波、京都、高知は本文のpdfを除いて、検索できるようになっている。電子化情報化委員会としては、本文以外は、毎年更新してもらうように事務局に要望書を提出することとした。
- ・課金システムについては、年次大会論文のダウンロードと関連するため、再度委員会で検討をするとともに、事務局でも検討してもらうこととした。

#### 2. メールニュースについて

(1)事務局から、資料19-3-1に基づき、メールニュース関係の報告が行われた。

- ・現在登録者数は、約200名で、そのうち会員は80名程度である。
- ・当初契約は3ヶ月で、その後随時継続をしていく。
- ・登録完了メールは、件名および文面の変更が可能なので、登録完了メールであることが

分かりやすいように事務局で変更をする。

委員会としては、メールニュースの配信数を増やすため、各委員は関係者に登録のお願いを行うこととした。

## (2) メールニュース本体について

金久保幹事から、資料 19-3-2 に基づき、メールニュースの原案の説明が行われ、以下のように修正をすることとした。

- ・配信メールは問い合わせメールと同じであるため、メールニュース本文の、二つ目の文章は削除する。
- ・メール配信停止・変更、登録の文面は削除する。
- ・電子情報化委員会のメールアドレスは削除する。
- ・文頭に「目次」を入れる

また、今後の作業について以下のことを確認した。

- ・デジタルデータは印刷データ用を使用しているが、文字化けをする場合があるので、校正段階で気をつける。
- ・次回のメールニュースの校正メールを金久保幹事から各委員に送信してもらう。
- ・メールニュースは持ち回りで担当になるので、作成マニュアルを金久保幹事が作成する。
- ・ホームページの更新状況をメールニュースに載せるようにする。

## 3. 研究委員会ホームページについて

### (1) ホームページ準備状況について

研究委員会ホームページ作成について、資料 19-4-1 の秋山委員作成資料の確認を行った。

- ・研究委員会ホームページについて、野口委員長が二羽研究委員会委員長と話をしたところ、多少誤解があるようなので、10月14日の研究委員会で説明をさせてもらうこととした。秋山委員に説明が可能かを確認することとした。
- ・研究委員会のひな形 HP は、資料のものを最終とすることを決定した。

### (2) 更新作業マニュアル(案)

田嶋委員から資料 19-4-2 に基づき、更新作業マニュアル(案)が説明され、確認された。後日気づいた点があれば田嶋委員に連絡することとした。マニュアルも10月14日の研究委員会の説明資料とすることとした。

## 4. 電子情報化委員会ホームページ

田嶋委員から資料 19-5 に基づき、電子情報化委員会のHP案が説明され、以下の事項を確認した。

- ・議事録については、個人情報、企業情報、金銭的な内容を削除したものを、抜粋として

載せる。

- ・丸山委員長の時の議事録は中村幹事が、野口委員長の時の議事録は野口委員長が確認し、ホームページに載せる抜粋版を早急に作成する。
- ・ホームページは、議事録を除いたものをまずは公開することとした。

## 5．コンクリート工学の電子化

甲斐委員から、現在のコンクリート工学を電子化する場合、すぐに全部を行うのは難しいと考えられるので、電子版のコンクリート工学を作成し、コンクリート工学原稿作成時に執筆者に電子版も希望するかを問い、少しずつ電子版のマテリアルを増やしていけるような体制を作っていっていかないと提案が行われた。今後、更に検討を進めてもらうこととした。

## 6．その他

### (1) 年次大会（新潟）について

金久保幹事から、資料 19-6 に基づき、新潟大会の原稿募集会告が説明された。pdf 変換ソフトについては、現在 Adobe Acrobat 以外のソフトもあり、今後対応を考える必要があるが、新潟大会は名古屋大会同様に行うこととした。なお、名古屋大会でも数件 Adobe Acrobat 以外のソフトで pdf 変換されたファイルがあったことが、事務局から報告された。

### (2) JCI 活動の電子情報化

野口委員長から、資料 19-9 に基づき、創立 40 周年記念号での「JCI 活動の電子情報化」の原稿説明が行われた。

### (3) 委員の交代について

中村幹事、加藤委員は今回を持って退任とし、今回から新たに三木委員、伊藤委員（前回までは中部支部からの派遣委員）が加わる事が確認された。

### (4) 次回委員会

次回委員会は 10 月末から 11 月初めで調整する。